

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 1 月 13 日 (2005.1.13)

【公表番号】特表 2000-515003 (P2000-515003A)

【公表日】平成 12 年 11 月 14 日 (2000.11.14)

【出願番号】特願平 9-541414

【国際特許分類第 7 版】

A 2 3 J 3/34

A 2 3 K 1/16

A 2 3 L 1/227

【F I】

A 2 3 J 3/34

A 2 3 K 1/16 3 0 1 G

A 2 3 L 1/227 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 26 日 (2004.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年4月26日

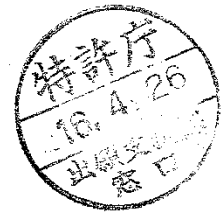
特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第541414号

2. 補正をする者

名称 ノボザイムス アクティーゼルスカブ



3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1通

方 式 査 査



請求の範囲

1. タンパク性基質から、グルタミン酸及び／またはペプチド結合グルタミン酸残基に富んだ加水分解物を得る方法であって、

(i) 前記基質を脱アミド化過程にかける工程、及び

(ii) 前記基質を特異的に作用するタンパク質分解性酵素の作用にかける工程を含む前記方法。

2. 前記脱アミド化過程を、前記基質をトランスグルタミナーゼの作用にかけることにより実施する請求項1に記載の方法。

3. 前記脱アミド化過程を前記基質をペプチドグルタミナーゼの作用にかけることにより実施する請求項1に記載の方法。

4. 前記特異的に作用するタンパク質分解性酵素がエンドーペプチダーゼである請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。

5. 前記特異的に作用するタンパク質分解酵素がエキソペプチダーゼ酵素である請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。

6. 請求項1～5のいずれか1項に記載の方法であって、

(iii) 前記基質を1または2以上の非特異的に作用するエンドー及び／またはエキソペプチダーゼ酵素の作用にかける追加の工程を含む前記方法。

7. 請求項1～6のいずれか1項に記載の方法によって得られた、遊離グルタミン酸及び／またはペプチド結合グルタミン酸残基に富んだ加水分解物を含む食品。

8. 請求項1～6のいずれか1項に記載の方法によって得られた、遊離グルタミン酸及び／またはペプチド結合グルタミン酸残基に富んだ加水分解物を含む動物飼料添加剤。